

○「どのような集落組織にするか検討」

(京都府宮津市 金山地域活動 H31第2回)(上宮津地区連絡会議活動)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

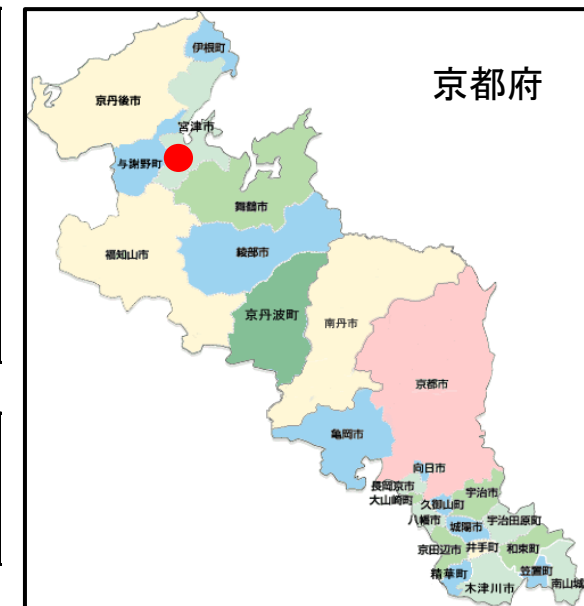
1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年11月7日(木) 19:00~21:30
- 場 所: 宮津市金山集会所
- 出席者: 関野委員、細見推進委員
プラン推進委員9人、市2人、事務局1人
※委員2人、委員以外12人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

写真・図面
(地区連の写真又は
必要に応じた活動の写真や図面)

2 地区の特徴、状況、課題

- 中山間・多面的事業を実施。農地は一定、集積されているが、高齢化で高い畦の草刈りが困難に
- 小作料が高い。地域における土地利用は、原則、皆で決めることになっているが、実態は相対で押しつけ
- 耕作者は今以上に耕作地を増やすことができない。不作付け地がでると保全管理せざるを得ない



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 集落営農組織検討
離農者の受け皿を検討する必要がある。共同を希望する。共同化すると施設の検討が必要
組織化して後継者をどうするか
- 若者に対するアンケート → 実施することに
- 農地中間管理事業の制度説明
- 今後の取組は、現状をふまえて何をしていくかを明らかにし、どのような組織にするか検討

4 活動結果

- 情報・意見交換 2.5 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援